

「だれもが楽しめる社会へ」

— 病気や障がいのある子どもたちに体験の輪を広げる — (NPO法人AYA)

取組の概要

「病気や障がいがあることを理由に、文化的・社会的体験をあきらめなくてよい社会の実現」を目指し、スポーツ・芸術・文化の各領域で、子どもたちとご家族に向けた体験型イベントを開催。映画上映会、スポーツ観戦会、音楽鑑賞会、プラネタリウム鑑賞会など、誰もが参加できるインクルーシブな社会づくりを推進している。

該当するSDGs目標 (3つまで)



取組を始めた動機・課題

病気や障がいを抱える子どもたちとその家族の体験機会は構造的に限られている。公共施設やイベント会場の環境面や配慮の不足、理解不足から、「体験の格差」という社会的不平等が生じている。この不平等を解消し、「病気や障がいを理由に体験をあきらめなくてよい社会の実現」を目的として、本取組を開始。

解決に向けた具体策と成果

医療的ケアへの対応、家族全員での参加設計、専門職の帯同、安全・安心への配慮といったAYA独自の体制を組み込み、誰もが安心して楽しめる「体験機会」を創出。

取組による定量的な効果

- ・ 来場者数:2023年度延べ 312人 → 2024年度延べ 1,334人
- ・ ボランティア数:2023年度 延べ61人 → 2024年度 延べ227人

取組のポイント

神奈川県・市・教育委員会の後援のもと、企業・ボランティアとの連携により、持続可能な共創モデルを構築。